

「南河内の自然情報」の第1回目は**昨春**の4月13日、それから1年近くが経過しました。

その間、季節の移り変わりを「虫」や「鳥」、「植物」の姿を通して見てきましたが、今、再び「春」がやってきました！

はるか南の国から「ツバメ」が戻ってきました。

冬の間、越冬に来ていた「カモ」が、繁殖の場である北方に向けて旅立つ準備を始めました。

菜の花が咲き、「ミツバチ」が花粉を集めにやってきました。

蛹で越冬した「モンシロチョウ」が羽化しました。

季節は毎年同じように繰り返し、生きものたちの姿も毎年同じように見ることができます。

一方で、私たち**人間**はどうでしょうか？

「去年と同じでは駄目だ」とか「もっと変わらなければいけない」などと、毎年同じことを繰り返すのは成長していない証拠...、などと言われてしまうこともありますね。

普段、自然と触れ合う機会の少ない方は、ぜひ一度、**ゆったりと流れる「自然」の時間**に溶け込んでみてはいかがでしょうか？

変化を求めない、循環する時間の中に身を置く時、きっと心に安らぎを感じることでしょ。

ただ、自然の中をゆっくりと歩くだけでもいいと思います。

深い山に入るのではなく、ハイキングや身近な里山の散策程度で十分だと思います。

カメラを持って行くと、もっと楽しみが増えるかも知れません。

さて、「南河内の自然情報」も、第225回目となる今回が、「**最終回**」となりました...

南河内の自然を訪問する機会がありましたら、いろんな「生きものたち」の姿を探してみてください。

そこには、きっと新しい発見が待っているはずですから！











